

第483回遊佐町議会定例会一般質問通告書

平成24年9月定例会

| 通告順 | 通告者          | 質問事項               | 要 旨  |
|-----|--------------|--------------------|--|
| 1   | 4番<br>土門 勝子  | 1. 不登校の現状と支援は      | <p>学校に行きたいのに行けない、そういう環境にいる子ども達は年々増加している。いじめも要因の一つと思われる。</p> <p>町の小、中学校で不登校、いじめはあるのか。なぜ登校できないのか、なぜいじめを受けているのか、分からないまま、その気持ちを親や先生、回りの人達に訴えることさえできなく苦しんでいる児童、生徒に対し、町は今までどのような対応をしてきたのか、現状と今後の支援を伺う。</p>   |
|     |              | 2. 災害時の避難場所は       | <p>いつ、どんな時に起こるか分からない多種多様の予測不能の災害に対して、学校の登下校時の際も含め、町はどのような避難計画と細かな災害状況を考え、どのような形で避難情報と避難場所を決めようとしているのか伺う。</p>   |
| 2   | 12番<br>那須 良太 | 1. 生活基盤となる産業振興について | <p>町の基幹産業としてきた米農業、3分の1減反が続く中鶴岡、仁賀保地区の大企業関連会社が今年9月から来年中には閉鎖すると報道されている。</p> <p>一方日東道建設の計画が進む中、生活基盤となる産業振興、今後どう図る考えかお尋ね致します。</p>  |
|     |              | 2. 青少年育成といじめについて   | <p>県教育委員会は管理職研修会を開き「いじめ」問題をテーマに公立全小中高の校長教頭を招集し「いじめ」防止と早期発見解決に向けた学校側の適切な対応を確認すると報道されている。</p> <p>県でも吉村知事が「いじめ」は、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ると言う認識を持ち、教師や保護者が、子どもの小さなサインに気付くことが大事、「いじめ」は悪いことだと社会全体で教える必要があると強調している。</p> <p>「いじめ」のない学校とは、学習と学校生活が一体となった教育、子どもは仲間によって育ち、学級における安心できる関係、その為には教師は子どもをしっかりと理解した上で指導することが大事と考える如何でしょうか。</p> |

| 通告順 | 通告者           | 質問事項                   | 要 旨   |
|-----|---------------|------------------------|---|
| 3   | 5番<br>赤塚 英一   | 1. 子供の安全を守るには          | <p>子供達を取り巻く環境は、日々変化しており、いつ、どこで、どういった状況で自身の安全がおびやかされ、場合によっては最悪の結果をむかえる場合もある。</p> <p>子供達の安全を確保するために、どのような対処方法をとっているのか。また現状をどのようにとらえているのか伺う。</p>   |
| 4   | 10番<br>斎藤 弥志夫 | 1. 学校給食について            | <p>学校給食の実施方法はセンター方式、自校方式、親子方式、民間調理場方式があるが、センター方式または自校方式がほとんどで、それぞれメリットとデメリットがある。遊佐町ではこれまで自校方式だけで続けてきたが、部分的にでもセンター方式を導入することで給食の質を落とさずに、しかも給食の単価を少しでも引き下げることができて、給食業務全般の経費を安上がりにすることができるなら、センター方式を検討しても良いのではないかと思うが、町長の考えを伺う。</p> |
| 5   | 11番<br>堀 満弥   | 1. 時田町政のこれまでの評価と今後を伺う。 | <p>○いきいき遊佐の創造について</p> <p>若者、働き場、賑わい、いずれも以前からの計画を着実に前進させクリアして来たと思うが再選への意欲は。</p> <p>○ マニフェスト等の達成度と町長就任以来の本人のこれまでの感想は。</p>   |
|     |               | 2. 高齢化時代に対応した町づくりについて  | <p>○高齢社会に対しどのようなまちのあり方か。</p> <p>○地域社会や村社会を築いていくのか。</p> <p>○安心して充実した暮らしができる町づくりが求められている。町長の所感を伺う。</p>  |
| 6   | 13番<br>伊藤マツ子  | 1. 救急搬送について            | 救急搬送に係わる諸問題について   |
|     |               | 2. 原発                  | 東北電力へ原発再稼働断念の要請を  |
| 7   | 9番<br>土門 治明   | 1. 婚活事業について            | <p>昨年度から、県の婚活事業と一緒に進めているが、内容と結果を伺う。又、県は最近、結婚支援センターを設立して、より事業を強化する姿勢である。婚活なくして結婚はありえない時代である。本町も、全力をあげて強化する考えがあるのか。</p>   |

| 通告順 | 通告者         | 質問事項                   | 要 旨  |
|-----|-------------|------------------------|--|
|     |             | 2. 出生率低下の原因について        | <p>本町においても、生涯未婚率の上昇と反比例して、低下の傾向である。</p> <p>出産と子育て施策もできるだけのことをしてるようだが、この原因についての分析調査を伺う。</p>   |
| 8   | 8番<br>高橋 冠治 | 1. 遊佐町における風力発電事業の課題は   | <p>現在、遊佐町にはすでに8基の風力発電機が設置され町としては消費以上の電力を生産する町になりましたが、地元の産業育成や雇用拡大には至っていない。</p> <p>固定資産税等は町に入るが、場所の提供で終わっていないか。</p> <p>計画では、さらに3基の新設が予定されている。県や酒田市は直営で事業を行うとしているが、当町としての今後の発電事業への対応を伺う。</p>               |
| 9   | 1番<br>筒井 義昭 | 1. 地域おこし協力隊の活動について     | <p>遊佐町では平成23年より地域おこし協力隊による地域おこし活動が展開されているが、「隊員」「地域」「自治体」の三者の連携と結束が重要である。</p> <p>隊員を迎えるにあたり、地域と自治体が地域づくりにあたってのビジョンを明確にもち、隊員に期待するミッションが何であるのか明確に示されていたのか伺う。</p> <p>また隊員の任期終了後の、定住化にむけた支援施策はとられているのか伺う。</p> |
| 10  | 3番<br>高橋 透  | 1. より良い教育環境の整備は行われているか | <p>滋賀県大津市の市立皇子山中学校のいじめ自殺問題をきっかけに、全国各地で学校や教育委員会に対する不信の声が続出している。町内の小・中学校のいじめの実態把握とその対策はどうなっているのか。また4月に実施された全国学力テストの結果が今月8日に発表されたが、それを踏まえた町内児童生徒の学力と今後の指導にどう反映されるのかを問う。</p>                                 |